

Saluton SESanoj

2010年5月から準備をしてきた第99回日本大会も成功裡に終わった。SESの皆さんのバックアップのたまものと心から感謝しています。準備段階では多少の紆余曲折はあったものの順調な運びでした。

LKKを立ち上げてから委員会は9月23日まで16回を数えた。その間報道関係、道・市教育委員会などの後援依頼や大会テーマにそった記念出版、記念講演、シンボルマーク、会場折衝、バンケード、弁当、郵便局交渉、記念写真、公開番組、入門講習、開・閉会式などひとつひとつ決めていった。いざやってみると思ったより簡単なものもあったが、難題も数えきれなくあった。やむを得ないかも知れないが、どうしても札幌勢に比重がかかる。一番の功労者は、経験もあり実務に精通した後藤純子さんだ。緻密で真摯に取り組む様子は模範とするに十分であった。横山さんは講師の折衝、アイヌ語・舞踏、音響・映像を担当した。阿部さんはバンケードで北海道の味と札幌限定のビールを中心に道内メーカーのワイン・酒で最高のおもてなしを演出した。会員からの講師として横山裕之さんと中野常明さんが演壇に立ちそれぞれアイヌ語入門講座と森林保護を熱く語った。オブザーバとして支援して下さったのは中田さん、末永さん、山下さん。中田さんは郵便局と交渉、今までにない4人体制でのサービスを実現させた。末永さんはエクスクルーツで晩餐会の司会を仕切ってくれたし、山下さんはガイドを引き受けてくれた。事前準備から大会当日は児玉さん、金森さん、白浜さん、瀬川さん、谷口さん、中野さん、馬場さん、前野さん、山岸さん、柳さん達がLKKと組んで八面六臂の活躍をしてくれた。後藤(義)はシンボルマーク、立て看板、切手、絵ハガキの他大会後観光を担当した。お陰様で参加者に「次の大会関係者は大変だ!」と言わせる程好評な運営ができました。ご協力本当にありがとうございました。